

い～な E-naだより

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所発行
電話04(7125)7311
2017年10月19日【第10号】

災害対策機器～減災・防災の取組み～

災害対策室

江戸川河川事務所では、風水害対策や地震災害対策など災害対策業務を行う活動拠点として、事務所に「災害対策室」

【写真1】を設置しています。

災害対策室では、管内の河川管理用CCTVカメラ約100台の映像と、水位・雨量、レーダ雨量情報等を大型モニターにより集約して監視することができます。

また、テレビ会議システムを備えており、管内各出張所、支所、関東地方整備局、国土交通本省とテレビ会議を行うことができます。

さらに、当事務所に1台配備している可搬型Ku-SAT【下欄の写真3】により、被災現場の映像を衛星通信回線により受信したり、国土交通省の防災ヘリコプターが撮影した映像を受信する機能も備えているので、管内のどこで災害が発生しても災害対策室から状況把握ができます。

江戸川河川事務所では、河川に係る減災・防災に役立つよう、これら災害対策機器を利用した訓練を定期的実施し、職員の災害対応能力の向上と維持に努めています。



【写真1】 H29.9.15撮影 平成29年度総合地震防災訓練の実施状況

統合通信網 可搬型Ku-SAT

江戸川河川事務所の通信用鉄塔【写真2】は、国土交通省の拠点約900箇所を無線（電波）で結ぶための施設で、耐震設計された鉄塔上にパラボラアンテナ等を15基設置し、各拠点間を電波で結ぶことで、多重無線回線を構成しています。

さらに、国土交通省が全国の河川・道路に整備した光ファイバー網と多重無線回線網を統合することで、災害に強く、高速・大容量な「（光／無線）統合通信網」を構築し、災害時において防災情報を確実に伝送できる体制を整えています。



【写真2】 江戸川河川事務所の通信用鉄塔

- ・平成9年3月完成
- ・地上高70m
- ・主塔直径3.5m
- ・重量340トン



【図】 災害対応と情報通信

（出典：国土交通省HP
<http://www.mlit.go.jp/tec/it/denki/index.html>）



【写真3】 可搬型Ku-SATの運用状況

排水ポンプ車・照明車

江戸川河川事務所では、来たるべき災害に備えて次のような災害対策用機械を保有しています。
(保有台数は排水ポンプ車3台、照明車2台の計5台)

【排水ポンプ車】

台風や集中豪雨などの大雨により、住宅地等が浸水した際に、排水作業を行います。

ポンプなどの全ての機材は人力で運搬・設置できることから、現地に到着してから短時間で排水作業が開始できます。

- ・排水能力 : 30m³/分
- ・搭載ポンプ : 7.5m³/分(1台当たり)×4台
- ・電 源 : 搭載する発電機より給電
- ・特 徴 : 軽量型のため人力で運搬可能
(1台当たり35kg)



排水ポンプ車 (30m³/分)



軽量型排水ポンプ

【照明車】

洪水や土砂崩れ、また地震や油流出事故などの災害に対し、夜間における復旧作業をサポートし、迅速かつ早急に現場復旧させるため、照明車は災害現場を明るく照らします。

- ・照明装置 : 2000W×6灯
- ・電 源 : 搭載する発電機より給電
- ・明るさ : 家庭用100W電球120個分の明るさ
50m先で新聞が読めます



照明車 (ブーム式)



照明車 (二柱式)

【いざという時に備えて！】

いざという時に備えて、江戸川河川事務所では毎年度、職員、協力会社並びに関係自治体の方々と共に、災害対策用機械の操作講習や訓練を行っています。



平成29年6月9日 災害対策用機械操作講習会(三郷出張所構内)



平成29年9月4日草加市合同
設置訓練 (草加市稲荷町)

【災害出動事例】

関東地方整備局では、管内の災害だけではなく様々な災害に対応すべく全国に派遣され応援活動を行っています



平成27年9月鬼怒川での稼働状況
(他事務所での活動)



平成29年9月千葉県内での稼働状況
(他事務所での活動)

※災害対策用機械のお問い合わせは、江戸川河川事務所施設管理課(04-7125-7311)まで。

※「E-naだより」は江戸川河川事務所及び各出張所(管理支所)で入手できるほか、江戸川河川事務所H.P.(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00691.html>)にも掲載しています。

※このQRコードから江戸川河川事務所管内の降雨状況や水位情報などが入手できます。

